

藤原歌劇団公演

総監督 折江忠道
General Artistic Director: Tadamichi ORIE

RIGOLETTO

ニュープロダクション

リゴレット

ヴェルディ作曲 オペラ全3幕〈字幕付き原語（イタリア語）上演〉

G.Verdi: RIGOLETTO Opera in 3 acts in Original Language

指揮 柴田 真郁 Maiku SHIBATA
演出 松本 重孝 Shigetaka MATSUMOTO

リゴレット Rigoletto	須藤 慎吾 Shingo SUDO
マントヴァ公爵 Il Duca di Mantova	笛田 博昭 Hiroaki FUEDA
ジルダ Gilda	佐藤 美枝子 Mieko SATO
スパラフチーレ Sparafucile	伊藤 貴之 Takayuki ITO
マッダレーナ Maddalena	鳥木 弥生 Yayoi TORIKI
ジョヴァンナ Giovanna	河野 めぐみ Megumi KONO
モンテローネ伯爵 Il Conte di Monterone	泉 良平 Ryohei IZUMI
マルッロ Marullo	月野 進 Susumu TSUKINO
ボルサ Borsa	井出 司 Tsukasa IDE
チェプラノー伯爵 Il Conte di Ceprano	相沢 創 Hajime AIZAWA
チェプラノー伯爵夫人 La Contessa di Ceprano	相羽 薫 Kaoru AIBA
小姓 Paggio	丸尾 有香 Yuka MARUO

合唱 藤原歌劇団合唱部
Fujiwara Opera Chorus Group
管弦楽 セントラル愛知交響楽団
Central Aichi Symphony Orchestra

「父親の悲しみを嘲笑する者は呪われよ」
その呪いが、娘を溺愛するリゴレットの身に襲いかかる

2020 2月 8日 土 14:00

【13:00 開場】※13:15 から作品解説をいたします。上演時間：約2時間40分

愛知県芸術劇場 大ホール

(愛知芸術文化センター2階)

好評発売中 S席 ¥12,000 A席 ¥10,000 B席 ¥8,000
C席 ¥5,000 D席 ¥3,000 (税込)

◆ヤング・フレッシュマンチケット：A席～C席が半額（25歳以下/枚数限定）
◆障がい者割引：S席～B席が20%割引（要お問合せ/枚数限定）

※特別割引、車椅子席につきましては、日本オペラ振興会チケットセンターのみで取り扱い。詳細はお問い合わせください。
※未就学児入場不可。※やむを得ない事情により出演者が変更になる場合があります。

お問い合わせ・予約 日本オペラ振興会チケットセンター 03-6721-0874 (平日 10:00～18:00) <https://www.jof.or.jp>

チケット販売所 ●愛知県芸術劇場オンラインチケットサービス <https://www-stage.aac.pref.aichi.jp/event/>
●愛知芸術文化センタープレイガイド 052-972-0430
(平日 10:00～19:00 土日祝休 10:00～18:00 / 月曜定休・祝休日の場合は翌平日、年末年始休み 12/28～1/3)
●チケットぴあ <https://t.pia.jp> 0570-02-9999 (Pコード：156-489)

主催：公益財団法人日本オペラ振興会/愛知県芸術劇場

藤原歌劇団公演

リゴレット

ニュープロダクション

ヴェルディ作曲 オペラ全3幕 (字幕付き原語 (イタリア語) 上演)



ヴェルディ中期の傑作「リゴレット」

2017年「カルメン」、2018年「ナヴァラの娘／道化師」に続く、愛知県芸術劇場と藤原歌劇団のコラボレーション3作目は、ヴェルディ「リゴレット」を上演します。

「リゴレット」が初演されたのは1851年。この作品以降、ヴェルディは「イル・トロヴァトーレ」「ラ・トラヴィアータ(椿姫)」といった巧みな心理描写とそれを見事なまでに音楽に写し込んだ傑作オペラを次々と発表していきます。

今回のタイトルロールには日本におけるヴェルディ・バリトンの第一人者となりつつある須藤慎吾。マントヴァ公爵に名古屋芸術大学出身で愛知県とも縁の深いテノールの笛田博昭、ジルダには日本を代表するソプラノの一人、佐藤美枝子という主役陣に加え、スパラフチーレに伊藤貴之、マッダレーナに鳥木弥生ほか、「イタリアオペラの藤原歌劇団」の名に恥じぬ鉄壁とも言えるキャストを揃えました。指揮は柴田真郁、演出に松本重孝。管弦楽はセントラル愛知交響楽団。正統派の「リゴレット」をどうぞご堪能ください。

見どころ & 聴きどころ

女好きのマントヴァ公爵が歌う「あれか、これか」「彼女が連れ去られた～頬に涙が」「女心の歌」は、どれもよく知られたアリア。ジルダのアリア「慕わしい人の名は」は、ソプラノ・リリコ・レジーエロがコンサートでも好んで採り上げる一曲。そして主役リゴレットの「悪魔め、鬼め」と、ジルダとの二重唱から続く「そうだ、復讐だ」は、この役最大の聴かせどころとなります。また第3幕のジルダ、マッダレーナ、リゴレット、スパラフチーレによる四重唱「美しい愛の娘よ」の美しさも必聴です。

STORY

背中に大きなこぶのあるリゴレットは、人々を擲擄することを生業とするマントヴァ公爵お抱えの道化。女好きなマントヴァ公爵の威を借りて、宮廷の男たちを愚弄、嘲笑する彼を皆は苦々しく思っている。そんなリゴレットには、人目に触れぬようにして育てている娘ジルダがいる。そのジルダが、唯一外出の許される教会で公爵と出会う。公爵は身分を隠し、貧乏学生グアルティエール・マルデと偽って彼女に近づく。廷臣たちが、面白がってジルダを宮廷に誘拐し、リゴレットは必死に娘の行方を追う。娘が公爵に凌辱されたと知ったリゴレットは、公爵への復讐を誓う。殺し屋のスパラフチーレに依頼して公爵を亡き者にするはずだったが、その亡骸を確認しようとする、そこには瀕死の愛する娘の姿が……。



柴田真郁



須藤慎吾



笛田博昭



佐藤美枝子



伊藤貴之



鳥木弥生



河野めぐみ



松本重孝



泉良平



月野進



井出司



相沢創



相羽薫



丸尾有香

STAFF

合唱指揮 須藤 桂司 美術 大沢 佐智子 衣裳 前岡 直子 照明 服部 基 舞台監督 菅原 多敢弘 副指揮 諸遊 耕史 演出助手 手塚 優子

2020年

2月1日(土)&2日(日) 14:00
東京文化会館大ホール

指揮：柴田真郁 演出：松本重孝

S¥14,800 A¥12,800 B¥9,800 C¥6,800 D¥4,800 E¥2,500 (税込)
お問い合わせ：日本オペラ振興会チケットセンター 03-6721-0874 (平日10:00~18:00)

リゴレット：須藤慎吾/上江隼人
マントヴァ公爵：笛田博昭/村上敏明
ジルダ：佐藤美枝子/光岡皖恵
スパラフチーレ：伊藤貴之/豊嶋祐壺
マッダレーナ：鳥木弥生/米谷朋子
ジョヴァンナ：河野めぐみ/二瓶純子

モンテローネ伯爵：泉良平/村田孝高
マルッコ：月野進/大野浩司
ボルサ：井出司/有本康人
チェブラーノ伯爵：相沢創/上田誠司
チェブラーノ伯爵夫人：相羽薫/古澤真紀子
小姓：丸尾有香/網永悠里

合唱：藤原歌劇団合唱部 管弦楽：日本フィルハーモニー交響楽団

童謡コーラスは、藤原歌劇団のオペラ公演を応援しています！

全国800団体30,000名を超える童謡コーラスは、地域の生涯学習活動として、童謡や唱歌、ラジオ歌謡からロシア民謡まで思い出の名曲を大合唱。笑い声と歌声がいっぱいのみんなの合唱団です！中部名古屋地域でも歌仲間募集中です！0120-104-315